

# 公益社団法人 日本天文学会

## 2016年度事業報告書

### I. 出版物の刊行（定款第2章第5条2項に該当の事業）

1. 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan) : 第68巻2号—6号、増刊特集号68巻SP1号、第69巻1号の計7回刊行。総論文数151編（うちLetter 8、大学VLBI連携特集 9、Suzaku・MAXI特集 32）、総頁数1,947頁、紙版発行部数250部、偶数月25日発行。
2. 天文月報 : 第109巻5号—12号、第110巻1号—4号を刊行。総頁数904頁、総目次9頁、発行部数3,400部、毎月20日発行。
3. 年会予稿集:2016年秋季年会発行総頁数323頁、450部印刷。2017年春季年会発行総頁数321頁、400部印刷。
4. ジュニアセッション : 春季講演予稿集94頁、500部印刷。
5. 「シリーズ現代の天文学」第1巻第2版を刊行した。

### II. 年会の開催（定款第2章第5条1項に該当の事業）

1. 2016年秋季年会  
2016年9月14日(水)から16日(金)の3日間、愛媛大学(愛媛県)にて口頭講演会場10、ポスター会場1を使って開催した。講演件数は口頭講演が467件、ポスター講演が194件の合計661件、年会参加者は890名であった。本年会では、企画セッション2件(「データ科学としての天文学 ～ 新たな統計解析手法とその応用」、「重力波初検出の意義と重力波天文学の幕開け」)、天文教育フォーラムを行った。また保育室を開設した。年会に先立ち9月13日(火)に記者発表(講演2件)を行った。9月17日(土)に公開講演会を開催し、約250名が来場した。懇親会は9月15日(木)に行い、出席者は219名であった。
2. 2017年春季年会  
2017年3月15日(水)から18日(土)の4日間、九州大学(福岡県)にて口頭講演会場9、ポスター会場1を使って開催した。講演件数は口頭講演が458件、ポスター講演が194件での合計652件、年会参加者は891名であった。本年会では、特別セッション2件(「PASJ論文執筆セミナー—これであなたもPASJに投稿したくなる—」、「X線天文衛星計画の概要—「ひとみ」と「X線天文衛星代替機」」)、企画セッション1件(「超新星残骸の多波長観測と理論研究の展開」)、ジュニアセッション、天文教育フォーラム、林忠四郎賞・研究奨励賞受賞記念講演を行った。また保育室を開設した。年会に先立ち3月14日(火)に記者発表(講演2件)を行った。3月19日(日)に公開講演会を開催し、約280名が来場した。懇親会は3月16日(木)に行い、出席者は368名であった。

### III. 代議員総会・理事会・会員全体集会及び監査（定款第6-8章第36-57条に該当の事業）

#### 1. 代議員総会

日 時 : 2016年6月5日(日) 13:00~15:30

場 所 : 東北大学東京分室 会議室 A&B (東京都千代田区)

議 長 : 市川 隆 (議事録は学会ホームページに掲載)

日 時 : 2016年9月15日(木) 11:40~12:40

場 所 : 愛媛大学城北キャンパス 共通教育A棟 2階 23号講義室 (愛媛県松山市)

議 長 : 市川 隆 (議事録は学会ホームページに掲載)

日 時：2017年1月8日（日） 13:00～17:015  
場 所：東北大学東京分室 会議室 A&B（東京都千代田区）  
議 長：市川 隆（議事録は学会ホームページに掲載）

日 時：2017年3月16日（木） 11:30～12:45  
場 所：九州大学伊都キャンパス センター2号館 4F 2404室（福岡県福岡市）  
議 長：半田利弘（議事録は学会ホームページに掲載）

## 2. 理事会

日 時：2016年5月15日（日） 13:00～16:00  
場 所：東北大学東京分室 会議室 A（東京都千代田区）  
議 長：市川 隆（議事録は学会ホームページに掲載）

日 時：2016年9月14日（水） 19:10～21:00  
場 所：愛媛大学城北キャンパス 校友会館 2F 会議室（愛媛県松山市）  
議 長：市川 隆（議事録は学会ホームページに掲載）

日 時：2016年12月24日（土） 13:00～17:00  
場 所：東北大学東京分室 会議室 A（東京都千代田区）  
議 長：市川 隆（議事録は学会ホームページに掲載）

日 時：2017年3月15日（月） 18:15～19:10  
場 所：九州大学伊都キャンパス センター2号館 2F 2205室（福岡県福岡市）  
議 長：半田利弘（議事録は学会ホームページに掲載）

## 3. 会員全体集会

日 時：2016年9月15日（木） 16:00～17:00  
場 所：愛媛大学城北キャンパス グリーンホール（愛媛県松山）  
司 会：山下卓也

日 時：2017年3月17日（金） 15:45～17:15  
場 所：九州大学伊都キャンパス センター2号館 4F 2404室（福岡県福岡市）  
司 会：山下卓也

## 4. 公益社団法人2015年度監査

日 時：2016年4月25日（月） 13:00～17:00  
場 所：国立天文台三鷹キャンパス コスモス会館会議室（東京都三鷹市）  
出席者：松原英雄、渡邊鉄哉、柴田克典、熊谷紫麻見、山下卓也、中村文隆、佐藤良信事務長、亀井久治公認会計士（オブザーバー）

## IV. 委員会など（「日本天文学会委員会等に関する細則」に準拠）

本年度は以下の18の委員会と1の顧問において構成メンバー（任期2年の2年目）により各種活動が行なわれた。

- ◇ 欧文研究報告編集顧問  
編集顧問会議を2016年12月12日に東京大学(本郷)で開き、今後の招待レビューや特集企画、投稿促進の方策などについて検討を行った。編集委員会と共に改訂を進めてきた「投稿の手引き(第2版)」が完了し、2017年3月15日に春季年会において『「PASJ論文執筆セミナー」-これであなただもPASJに投稿したくなる』を、編集委員会と共同開催した。
- ◇ 欧文研究報告編集委員会  
2016年度は、163編の論文が投稿され編集委員が分担して査読手続を行った。通常号を6号、増刊特集号を1号、合計7号発行し、151編・1,947頁を掲載した。特集として、通常号では「大学VLBI連携特集」、増刊特集号では「Suzaku衛星10周年・MAXI6周年」を企画・編集した。編集委員会会議を2016年12月12日に東京大学(本郷)で開き、査読手続・編集方針、論文執筆セミナーの企画などについて討議した。2017年1月より本文掲載料単価を改訂し、正会員割引価格を設けた。編集顧問と共に進めてきた「投稿の手引き(第2版)」の改訂が完了し、2017年3月15日に春季年会において『「PASJ論文執筆セミナー」-これであなただもPASJに投稿したくなる』を、編集顧問と共同開催した。
- ◇ 天文月報編集委員会  
月に一度、スカイプを用いて編集会議を開催し、天文月報の編集作業を行った。6つの特集(SEEDS、天文と社会をつなぐコミュニケーション、「ひので」10周年記念、重力波電磁波対応天体追観測、スペースガード、アルマ望遠鏡)を組んだほか、ASTRO NEWSで重力波検出と天文学についての速報的な記事を掲載した。
- ◇ 年会実行委員会  
秋季年会(2016年9月14日~16日・愛媛大学)および春季年会(2017年3月15日~18日・九州大学)を開催した。両年会の準備にあたっては、2016年7月1日および2017年1月13日に年会実行委員会を国立天文台において開き、プログラムを編成した。
- ◇ 天文教育委員会  
年会時の公開講演会と天文教育フォーラム(天文教育普及研究会と共催)を開催した。次年度以降開催分についても準備を開始した。講師紹介プログラムは本年度15件依頼があり、11件が成立した。講師紹介ポータルページを構築した。日本学術会議「大学教育の質保証のための教育課程の編成基準 物理学・天文学分野」を補完する、教養教育まで含めた天文学の大学教育への提言を構築中。天文教育に関する各種協力要請に積極的に対応した。
- ◇ 選挙管理委員会  
会長候補者(任期:2017年度~2018年度の2年間)の選挙を定款に沿った「会長・副会長・理事・監事選考細則」に基づき行った。1名の推薦があり、会長候補者とした。以上の選挙結果を天文月報2016年12月号に報告した。
- ◇ 推薦委員会  
本年度は代議員選挙が行われない年度であったので、活動はなかった。
- ◇ 林忠四郎賞選考委員会  
天文月報2016年9月号並びにtennetで、林忠四郎賞受賞候補者の推薦と欧文研究報告論文賞候補論文の推薦を11月10日締切で会員に依頼した。11月19日に選考委員会を東京大学大学院理

学系研究科ビッグバン宇宙国際研究センターで開催し、林忠四郎賞候補 1 件、欧文研究報告論文賞候補論文 2 篇を選出し、2017 年 1 月 8 日に開催された代議員総会に推薦した。

◇ 研究奨励賞選考委員会

天文月報 2016 年 9 月号並びに tennet で第 28 回研究奨励賞候補者の推薦を会員に依頼した。2016 年 12 月 15 日に選考委員会を国立天文台三鷹キャンパスで開催し、候補者 2 名を選出し、2017 年 1 月 8 日に開催された代議員総会に推薦した。

◇ 天体発見賞選考委員会

天文月報 2016 年 9 月号で天文功労賞候補者の推薦を会員に依頼し、2 件の推薦を受けた。2017 年 1 月 4 日に開催された選考委員会で、天体発見賞 7 氏 16 件、天体発見功労賞 2 氏および 1 グループ(2 氏)・3 件、天文功労賞(長期部門) 1 氏 1 件、天文功労賞(短期部門) 1 氏 1 件の候補を選出し、2017 年 1 月 8 日に開催された代議員総会に推薦した。

◇ 内地留学奨学金選考委員会

天文月報 2016 年 7 月号並びに tennet で 2017 年度の内地留学奨学金奨学生の募集を行った。応募者から 1 名の奨学生(25 万円の支給)を決定した。

◇ 早川幸男基金選考委員会

若手海外学術研究援助の募集・選考を、第 93 回から 96 回までの 4 回実施した。応募 54 件から 23 件を選び、採択率は 43%であった。採択額は約 594 万円、実際の援助額は約 583 万円であった。昨年度(応募 43 件、採択 20 件、採択率 47%、採択額 475 万円、実際の援助額 417 万円)より応募が大幅に増えたので、採択件数を増やした。結果当初予算 464 万円よりも大幅に超過した採択額となった。

◇ ネットワーク委員会

メールサーバ、年会のサーバを含む事務所内計算機を常に適正な状態に保持し、重要データ等のバックアップを適切に行った。また現ホームページの定期的アップデート作業に加えて、将来の全面的なリニューアルに向けての掲載情報の見直しも行った。

◇ 天文教材委員会

本年度は特に活動を行わなかった。

◇ ジュニアセッション実行委員会

2017 年春季年会(九州大学)にて第 19 回ジュニアセッションを開催、予稿集を発行した。その準備のため、2017 年 2 月 5 日にプログラム編集委員会を招集、また随時各自作業を行った。年会ではタイからの発表 6 件を含め、合計 82 件の発表(口頭・ポスター)が行なわれた。参加者は、生徒や教員など 274 名、一般参加者 23 名、及び、学会参加者 60 名、合計 357 名であった。

◇ 男女共同参画委員会

例年開催されている「女子中高生夏の学校」において、天文教育委員会と共同で、埼玉大学の現役学生および OG 学生にも協力をもらいながら、中高生・教諭向けに天文学に関する研究説明、進学・キャリア相談、天体観望会を行った。主催団体の「男女共同参画学協会連絡会」には、オブザーバー学会として引き続き在籍することを決め、情報を得ている。

◇ 衛星設計コンテスト推進委員会

主催団体の一つとして、第 24 回衛星設計コンテストを実施した。最終審査会が 2016 年 11 月 12 日に東京都港区にある機械振興会館ホールで開催され、一次審査を通過した 16 件の発表と質疑応答があった。審査の結果、日本天文学会賞を高知工業高等専門学校チームの木星電波ビーーム観測衛星「JBeam」に授与した。

◇ キャリア支援委員会

秋季年会と春季年会において、企画の一つとして年会に参加している大学院生とポスドクに対する「進路相談コーナー」を設置した。日本物理学会キャリア支援センター等と共催して、私立中高理系教員選考会を 4 回開催した。

◇ 全国同時七夕講演会実施委員会

電子的に委員会で協議し、5 月 17 日に本年度の講演会登録を開始した。日本学術会議の後援名義を取得した。

## V. 各賞の授与（定款第 2 章第 5 条 7 項に該当の事業）

2016 年度日本天文学会各賞は、2017 年 1 月 8 日に開催された代議員総会で以下のように決定し、春季会員全体集会で授与した。

◇ 林 忠四郎賞（1 氏）

住 貴宏（すみ たかひろ）氏：大阪大学大学院・准教授  
研究の表題「重力マイクロレンズを用いた系外惑星の研究」

◇ 欧文研究報告論文賞（2 編）

・論文題目：NIR Spectroscopy of Star-Forming Galaxies at  $z \sim 1.4$  with Subaru/FMOS:  
The Mass-Metallicity Relation

著者：Kiyoto Yabe et al.

出版年等：Vol.64, No.3, article id 60, 2012 June.

・論文題目：Effect of Magnetic Braking on Circumstellar Disk Formation in a Strongly  
Magnetized Cloud

著者：Masahiro N. Machida et al.

出版年等：Vol.63, No.3, pp.555-573, 2011 June.

◇ 研究奨励賞（2 氏）

・滝脇知也（たきわき ともや）氏：国立天文台 理論研究部・助教

研究の表題：「大規模 3 次元シミュレーションに基づく重力崩壊型超新星の爆発機構に関する理論的研究」

・秦 和弘（はだ かずひろ）氏：国立天文台 水沢 VLBI 観測所・助教

研究の表題：「高分解能 VLBI による巨大ブラックホールジェット生成・収束・加速領域の観測的研究」

◇ 天体発見賞（7 氏、16 件）

・青木昌勝（あおき まさかつ）氏 1 件

超新星 2016C の発見

・板垣公一（いたがき こういち）氏 9 件

超新星 2016W の発見、超新星 2016ajf の発見、超新星 2016bkv の発見、超新星 2016eqa の発見、超新星 2016esm の発見、超新星 2016fov の発見、超新星 2016gsd の発見、新星 V5855Sgr の発見、

- 超新星 AT 2016jag の発見
- ・坪井正紀（つばい まさき）氏 2 件  
超新星 2016bam の発見、超新星 2016jfu の発見
- ・山本 稔（やまもと みのる）氏 1 件  
新星 V3661 Oph の発見
- ・西村栄男（にしむら ひでお）氏 1 件  
新星 V1655 Sco の発見
- ・藤川繁久（ふじかわ しげひさ）氏 1 件  
新星 V1656 Sco の発見
- ・嶋 邦博（しま くにひろ）氏 1 件  
超新星 2016isl の発見
- ◇ 天体発見功労賞（2 氏および1 グループ(2 氏)・3 件)
  - ・中村祐二（なかむら ゆうじ）氏 1 件  
新星 V3661 Oph の独立発見
  - ・西山浩一（にしやま こういち）氏、椛島富士夫（かばしま ふじお）氏 1 件  
新星 V5853 Sgr の独立発見
  - ・櫻井幸夫（さくらい ゆきお）氏 1 件  
新星 PNV J18205200-2822100 の独立発見
- ◇ 天文功労賞
  - 長期的な業績(1 氏、1 件)
    - ・藤森賢一（ふじもり けんいち）氏  
「60 年以上の長期にわたる太陽活動の観測」
  - 短期的な業績(1 氏、1 件)
    - ・佐藤英貴（さとう ひでたか）氏  
「彗星型の軌道を動く小惑星の検出とその形状観測」

## VI. 助成金（定款第 2 章第 5 条 5、7、9 項に該当の事業）

- ◇ 早川幸男基金：
 

若手天文研究者の海外での研究活動のための渡航・滞在費の補助として早川幸男基金選考委員会の選定に従い 23 名（第 93 回～第 96 回）に対して総額約 583 万円の援助を行なった。
- ◇ 学術交流費（学生の年会参加旅費補助）：
 

賛助会員会費をもとに、大学院生などが秋季年会（愛媛大学）、春季年会（九州大学）に参加して研究発表をするための一部補助を行った。（発表者：47 名、総額 121.4 万円）
- ◇ 内地留学奨学金：
 

1 名に 25 万円の支給を行った。

## VII. 後援事業等（定款第 2 章第 5 条 8 項に該当の事業）

国際・国内シンポジウムなどの共催 2 件、後援 12 件、協賛 8 件を決定した。

承諾日	事業名	宛先（代表者）
4/18	後援 青少年のための科学の祭典2016	日本科学技術振興財団

5/9	後援	第30回天文教育研究会	天文教育普及会
5/10	後援	学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2016 (第10回)	特定非営利活動法人 natural science
5/18	後援	第12回最新の天文学の普及をめざすワークショップ	国立天文台天文情報センター
5/18	後援	第6回高校生天文活動発表会	高校生天文活動発表会実行委員会 大阪教育大学
5/26	協賛	第34回レーザーセンシングシンポジウム	第34回レーザーセンシングシンポジウム実行委員会 レーザー・レーダ研究会
6/14	共催	第60回宇宙科学技術連合講演会	一般社団法人 日本航空宇宙学会
6/30	後援	八重山高原星物語2016	八重山高原星物語実行委員会
6/30	後援	三鷹の森科学文化祭「みたか太陽系ウォーク」	特定非営利活動法人 三鷹ネットワーク大学推進機構
6/30	後援	第14回高校生科学技術チャレンジ (JSEC2016)	朝日新聞
7/8	協賛	女子中高生夏の学校2016	国立女性教育会館
7/27	後援	第17回こどものためのジオ・カーニバル	こどものためのジオ・カーニバル 企画委員会、大阪科学振興協会
8/10	協賛	JpGU-AGU共同大会2017	公益社団法人 日本地球惑星 科学連合/米国地球物理学連合
9/20	後援	平成28年「三鷹・星と宇宙の日」	自然科学研究機構国立天文台
9/20	協賛	Optics & Photonics Japan 2016	Optics & Photonics Japan 事務局
11/28	後援	京都産業大学益川塾第9回シンポジウム	京都産業大学、読売新聞社
12/15	後援	科学教育研究協議会 第64回全国研究大会・広島大会	科学教育研究協議会 全国委員会
2/1	協賛	第1回「光の日」合同シンポジウム	東京工業大学未来産業技術研究所
1/31	協賛	第45回可視化情報シンポジウム	一般社団法人 可視化情報学会
2/1	協賛	第42回光学シンポジウム	光学シンポジウム実行委員会
2/14	共催	CAP2018国際会議	CAP2018福岡大会事務局
2/17	協賛	日本流体力学会 年会2017	日本流体力学会

## Ⅷ. 外部の各賞・研究助成等への推薦 (定款第2章第5条7項に該当の事業)

外部の各種の賞および研究助成に対し、天文月報・学会ホームページで候補者を広く募り、会長・副会長が中心となって選考した上で学会としての正式の推薦を行った。(山田科学振興財団研究援助 1件、東レ科学技術研究助成 2件、日本学術振興会賞 1件、日本学術振興会育志賞 1件)

## Ⅸ. 全国同時七夕講演会の開催 (定款第2章第5条4項に該当する事業)

7月7日の七夕の日や、8月9日の伝統的七夕の日を中心とした6月～8月に、日本全国および海外(チリ)を含め、89件の講演会が実施された。

## Ⅹ. 事務所活動 (定款第1章第2条)

日本天文学会事務所では、事務長を含む常勤職員3名と6名の非常勤職員により、本会の各事業に関する業務活動を行った。

## 会 員 数

2017年3月31日現在の会員数は以下の通りである。

	正会員(内学生)	準会員	団体会員	賛助会員	合 計
2016年3月31日	1,966(431)	1,110	39	41	3,156
入 会	233(212)	61	0	2	296
退 会	△133(106)	△73	△2	△1	△209
移 籍 (増)	9(2)	16	-	-	25
移 籍 (減)	△16(2)	△9	-	-	△25
正会員へ (学生減)	△(31)				
2017年3月31日	2,059(506)	1,105	37	42	3,243

(注：移籍とは正会員、準会員との間の移動のことを指す)

(文責 庶務理事：山下卓也)